

2024 >>> 令和6年度補正予算に見る >>> 2025

# 補助金政策の新たな展開

## 2024年の停滞から、期待感に包まれた2025年へ

2024年、補助金限界では特に後半、大きな動きが少ない年となりました。新しい政策の発表も少なく、事業者にとっては「準備の年」と言える状況でした。しかし、2025年に向けて政府がどのような支援策を打ち出すか注目が集まり、期待感が高まっていました。

そんな中、発表された令和6年度補正予算には、中小企業や小規模事業者を支援する新たな制度が含まれており、注目を浴びています。既存制度の改善と新制度の導入を通じて、事業者が成長するための具体的な支援が示されています。

## 中小企業支援に焦点を当てた政策設計

令和6年度補正予算の特徴は、地域経済の活性化と持続可能な成長をテーマに、中小企業・小規模事業者支援を主軸に据えている点です。

具体的には、IT導入補助金や小規模事業者持続化補助金といった既存の補助金が強化され、対象範囲の拡大や補助率の向上が予定されています。また、新たに「新事業進出補助金」や「中小企業成長加速化補助金」が設けられ、これまでの政策をさらに発展させた内容となっています。

- ・IT導入補助金
- ・小規模事業者持続化補助金
- ・事業承継・M&A補助金
- ・大規模成長投資補助金
- ・中小企業省力化投資補助金
- ・ものづくり補助金
- ・新事業進出補助金(新設)
- ・中小企業成長加速化補助金(新設)

このうち、特に注目されるのが最後の2つ、新設された補助金制度です。それぞれどのような支援が行われるのかを見ていきましょう。

## 新設された注目の補助金制度

新事業進出補助金は、中小企業や小規模事業者が新規事業に挑戦する際に支援を提供する制度です。事業再構築補助金の後釜の制度とも言われており、地域経済や雇用創出につながる取り組みを積極的に後押しし、新たな市場への進出を目指す事業者に大きな力となるでしょう。

また、中小企業成長加速化補助金は、意欲的な成長を目指す中小企業を支援する補助金です。売上高100億円を目標とする企業の設備投資や課題解決に向けた取り組みにフォーカスし、飛躍的な成長を実現するための支援が提供されます。

## 補助金制度を活用し、未来を切り拓く

2025年の補助金政策は、中小企業や小規模事業者にとって大きな成長のチャンスを提供します。これらの補助金制度を最大限に活用するためには、申請要件やスケジュールを適切に把握し、事前の準備を進めることが重要です。

令和6年度補正予算の補助金制度は、事業者の未来を支える重要な鍵となるはず。これらを活用して、持続可能な成長を実現し、日本全体の経済活性化に繋げましょう。

文●セブンセンス税理士法人 マネージャー 富永竜彦

SSG Topics

社員発!



# ChatGPTで業務効率化を競う

セブンセンスグループで「ChatGPTプロンプトコンテスト」が開催されました! このコンテストでは、社員が自ら考案したChatGPTのプロンプトを発表し、業務改善のためのアイデアを競い合いました。採用支援、チームの連携強化、日常業務の効率化など、多岐にわたる創造的な提案が次々と披露され、社内では大きな話題に。最優秀賞に輝いたプロンプトには7万円の賞金が贈られるなど、盛り上がりも一段とヒートアップ! 果たしてどんなアイデアが選ばれたのか? 詳しくはコラムでご確認ください!

第1回 チャットGPT プロンプトコンテスト

社員の声から「ChatGPTプロンプトコンテスト」が開催...!

はじめ

01. 03月

02. 03月15日

03. 03月16日

04. 03月17日

05. 03月18日

公式 note こちらから!



たった30秒! 英語で「Topics」をYouTubeにて配信中!

Seventh Sense Group Channel

YouTubeサイト内[Seventh Sense Group]で検索・登録!

https://www.youtube.com/channel/UCiZ0YyTxji7HpALt0Lc101Q/

ネイティブスピーカーのスタッフが、日本の税制やビジネス、そのほかさまざまなトピックスを、30秒間でコンパクトに英語で発信。情報収集や英語のヒアリングなどに、ぜひご利用ください!



AI時代に再評価「ブリタニカ百科事典」の話

ネットやデジタルデバイスの登場以来、多くの「アナログデバイス」が姿を消しました。その代表例とも言えるのが紙の事典。隆盛を誇り、時代の流れでデジタルに移行した「ブリタニカ百科事典(スコットランド)」が、現代に新しい形で復活を遂げています。

かつて紙媒体で家庭や教育現場を支えたブリタニカ百科事典は、専門家による正確な知識を提供、家の本棚に並ぶ象徴的な存在でした。辞典を購入することは、教育への投資であり、知的な家庭を表すステータスともなっていました。

現在、ブリタニカは「Britannica AI」というサービスを展開。このAIチャットボットは、200年以上の歴史で培われた膨大な知識を基に、正確で信頼性の高い情報を提供します。

ウィキペディアや生成AIに見られる信頼性の問題を補完する存在として評価され、特に教育現場で広く受け入れられています。今年の売上高は1億ドルに達する見込みで、事業はさらに拡大しつつあります。

生成AIの普及により、AIが不正確な情報やバイアスを学習する「学習汚染」のリスクが問題視されています。信頼できる情報源の活用が、こうした課題を克服する鍵となるでしょう。その意味でも、ブリタニカAIのような専門知識に基づくツールは重要な役割を果たします。

AIは驚異的な可能性を秘めています。その基盤となるのは人類が長い歴史の中で積み上げてきた知識の結晶。技術と知恵の融合が、より豊かな未来を切り開く手助けとなることを期待したいものですね。



A~Dに入る数字を足すといくつになりますか?  
解答は、次月号に掲載します。

	7			9			A
		C	6	3			8
			2			4	
1		7	5	9			
	4				1		
		8	6	3			5
	5			2			
8			7		6		B
	D		4			2	

解答欄  <sup>A</sup> +  <sup>B</sup> +  <sup>C</sup> +  <sup>D</sup> = 合計

12月号の答え  <sup>A</sup> 7 +  <sup>B</sup> 3 +  <sup>C</sup> 2 +  <sup>D</sup> 8 = 合計  20

先達に学ぶ。

「家族と共に  
困難に打ち克つ」

長谷川町子  
(漫画家)



国民的アニメ『サザエさん』の原作者であり、日本初の女性漫画家、長谷川町子。漫画家で唯一、国民栄誉賞を受賞した。

1920年に佐賀で生まれ、生後まもなく福岡へ。4姉妹の三女だった町子はわんぱく娘で、幼い頃から絵を描くのが好きだった。

13歳で父が病死。翌年東京に引っ越した。『のらくろ』で有名な漫画家、田河水泡の弟子になりたいという町子に、母は弟子入りを後押し。田河の下で漫画を学んだ。才能が認められ15歳で漫画家デビューした。16歳で新聞連載を持った。戦争で福岡へ疎開。終戦の翌年に「夕刊フクニチ」から4コマ漫画の連載を依頼され『サザエさん』が誕生。磯野家の陽気な日常は日本国民を笑顔にした。

2度目の上京で、母は町子たちに『サザエさん』の単行本制作を命じた。家族は「姉妹社」を設立して自費出版したが、B5判横とじの第1巻は書店に並べにくいと返品に追われる事態に。それでも母はサイズを変えればいと励まし、第2巻をB6判にすると大ヒット。返品の山となっていた初版も全て引き取られた。

約28年間続いた『サザエさん』。だが何度か休載した。「これでいいのか。他に才能があるのでは?」と悩み、仕事道具を全て燃やしたときもある。休載中は粘土細工や刺しゅうを楽しむが、結局漫画が描きたくなくて復活するという調子だった。手術直後のベッドの上でも原稿に指示を出してしまうほど、漫画が好きだった。

どんなに困難な状況でも、家族と前向きに乗り越えてきたからこそ、世代を超えて愛される作品を描き続けられたのだろう。

Book Review  
今月の一冊

基礎から学ぶ  
海外資産の法務と税務

- 編著：セブンセンス税理士法人
- 出版社：金融ブックス
- 価格：2,200円(税込)
- 発売中

海外資産・国際相続にまつわる「国際資産税」を基礎から紐解く良書! 国際資産に関係する法務と税務の基本的な概念について、海外資産を持つ方や、海外に接点をもつ相続・贈与関係者の方から、多く寄せられる相談を基に構成。起こり得る問題を踏まえた、事前対策の基本書としても最適。特に相談の多い米国資産にも言及しながら、12のケース別の対処等も解説。 [kinyubooks.co.jp](http://kinyubooks.co.jp)



今月、この日に何があった?



2004年2月1日

テレビアニメ「ふたりはプリキュア」  
放送開始

従来の女兒向けアニメは、主人公がやさしく柔和なものが多かった。企画者は、従来の枠にとらわれない番組を企画。日曜日の朝という時間は、主に男児向けの仮面ライダーや戦隊ヒーローの時間帯でもあり、「どりあえず変身して戦うのがカッコイイだろう」という発想で「戦い」をメインにした。華麗さではなく、香港映画のようなアクションを目指した。企画書にも「女の子だって暴れたい」と書かれた。女兒をエンパワーメントする新しいコンセプトの番組は人気を博しシリーズは定着、今年2025年2月には22作目となる「キミとアイドルプリキュア♪」が放送開始された。